

令和2年度の重点課題

○男子

「50m走」,「立ち幅跳び」において県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○女子

「長座体前屈」,「反復横跳び」,「50m走」において県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○共通

「50m走」の得点が低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○立ち幅跳び

課題に対して学校全体で把握し,体の動かし方などを身に付けさせるために,体育の授業のサーキットの中に跳ぶ運動を取り入れた。

○50m走

体育の授業の中で短距離走遊びやしっぽ取り鬼ごっこ等の瞬発力を必要とする運動を取り入れた。

○長座体前屈

体づくり研修を実施し指導力向上を図った。

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.92	20.08	31.26	46.19	52.81	9.52	146.73	22.04	54.44	第5学年	19.00	19.00	33.11	42.94	42.89	9.62	145.78	12.71	55.63

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.92	20.08	31.26	46.19	52.81	9.52	146.73	22.04	54.44	第5学年	19.00	19.00	33.11	42.94	42.89	9.62	145.78	12.71	55.63

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	78.9	15.8	0.0	2.6	第5学年	53.8	26.8	7.7	11.5

学校独自の意識調査

学年	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
1年	94.6	15.4		
2年	82.6	10.9	6.5	
3年	87.1	6.5	6.5	
4年	76.2	14.3	7.1	2.4
5年	78.9	15.8	2.6	2.6
6年	60.5	18.4	18.4	2.6

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 20mシャトルラン
  - ・体育の授業において準備運動の中に,「走の運動(遊び)」を全学年で取り組むことで,走ることに慣れ親しませる。
  - ・マラソン朝会を実施し,定期的に何周走ったかの平均を集計することで,児童に明確な目標値を設定できるようにする。
- 50m走
  - ・陸上運動で扱うドリルメニューを取り入れることで,走り方の改善を図る。

体育の授業以外で行う取組内容

- どのようなドリルメニューを行えば効果的かを職員間で共有するため,体育の授業で行う取組内容について実践的な研修を計画し,実施する。
- 体育委員会を中心に,全員遊びを計画して,実施する。
- 児童会を中心にマラソン朝会や,ドッジボール大会などの計画をすることで,全児童が楽しくスポーツに触れる機会を確保し,それに向けて各クラスで目的意識をもって取り組めるようにする。

重点課題

情意面での課題

- 5年生
  - ・運動やスポーツをすることに肯定的ではない児童の割合が約16%である。
- 全体
  - ・学年が上がるにつれ運動やスポーツをすることに肯定的ではない児童の割合が増加傾向にある。

体力面での課題

- 5年生
  - ・男女ともに6種目が県平均かつ全国平均値より低い。この結果は,コロナ禍における運動不足も要因であると考えられる。
  - ・昨年度まで本校で取り組んだ「走の運動」で前年度と比較すると「20mシャトルラン」は,平均値が6.77回低く,「50m走」は,平均値が0.21秒遅くなっている。これは,取組が不十分であり,今後一層の工夫・改善を行う必要がある。

令和4年度の重点目標値

- 令和元年度に実施した新体カテストの県平均及び全国平均値と,本校の児童の結果を比較,分析した。その結果,重点課題として扱いたい項目が6種目挙げられる。その中で焦点化し,重点課題として学校全体で力を入れて取り組む「50m走」「20mシャトルラン」の2種目においては,令和4年度の全国平均値以上にする。
- 学校独自の意識調査「運動やスポーツをすることは好きですか」の調査内容に対する肯定的評価各学年90%以上にする。